

# 稲城野草散策の会

野草スケッチ アキノタムラソウ（シソ科）



1996/07/18 稲城市坂浜 絵と文 Ta

アキノタムラソウは夏の真っ盛りから秋にかけて見られる花だ。  
ちょっとした雑木林や周辺の草むらだったらどこにでもある。  
この花が咲き出すと、暑い日差しの下であっても、秋の気配が漂う気がする。  
夏の花から秋の花へと移り変わっていく季節の先駆けの花なのだ。

---

会報第57号 2009年09月05日発行 発行責任者 尼子 房夫

アキノタムラソウに対して、ハルノタムラソウもある。

ただし、花が見られるのは紀伊半島以西ということで、私はお目にかかったことがない。

秋があって春があれば、当然？ナツノタムラソウもある・・・これは丹沢で見た。いずれもシソ科サルビア属・・・園芸で使われるサルビアの仲間なのだという。サルビアとはぜんぜん似ていないが、花のつくりが共通しているらしい。

困みに、タムラソウという植物もあるが、これはアザミに似た花をつける。

キク科なので、分類上は赤の他人だ。

ところが、タムラソウと、ハル・ナツ・アキノタムラソウは葉の形が似ている。図鑑を見ても、アキノタムラソウの語源について書いたものを見たことがないが、案外この辺に名前の謂れがあるのではないだろうか。

このスケッチは駒沢学園の学園広場（ヤマユリの項参照）で描いた。

そういえば、この日、もう一枚スケッチしたような記憶がある。

記録を見ると、描いた日付は'96/7/18。

調べたところ、同じ日にシオデをスケッチしていた。

スケッチしたものは、日付、場所などとともにパソコンに記録を残すようにしている。

私は自他ともに認めるズボラなので、せめてこういうことをしておかないと、わけがわからなくなってしまう。

以前は、記録も取らず描いた順に原画をファイルしておいただけだった。

ファイルも10冊くらいになった。

何かを資料に使おうと思っても、どこに入っているかわからない。

ファイルを全部ひっくり返す愚挙を何度も繰り返した。

現在、原画は科別に整理してファイリングしている。

ルーズリーフ式の、途中からの抜き差しが自由に行えるファイルだ。

こうしておけば、追加や再整理が楽に行える。

パソコンの記録と同じ順序になっているので、検索はいとも簡単である。

そんなことは当たり前なのであろうが、この方式を取り入れたのはごく最近であった。

記録といえば、観察記録もある。

観察に出かけるときには、いつも小型の手帳を持って行く。

いわゆる、フィールドノートだ。

観察した植物はここへ出現順に記録する。

帰ってからパソコンに打ち込み、記録として残すとともに、パソコン通信のフォーラムにアップしている。

ところが、最近、怠け癖がついてきて、あまり記録を取らなくなった。

特に稲城のフィールドだと、「毎度おなじみ」のものばかりしか出てこない。

つついおっくうになってしまうのだ。

どうもいかなあと思う。

マンネリなのだろうか・・・

(2000年8月記)

\* \* \* \* \*

## 〔観察記録〕 8月22日 大丸用水

暑かった一日でした。予報だと曇りで一時雨もあるということでしたが、完全な晴れの日でした。暑いと予想されたのでしょうか33名の参加という予想より少ない人数でした。一方で暑かったけど楽しかったという声も聞かれました。

南多摩駅集合。南多摩駅の周辺は工事がどんどん進んで変貌して来ています。駅前にあったお店も無くなりました。

スタートして最初は多摩川の大丸堰の近くまで行き、そこから河川敷に沿って戻りました。足元にウマノスズクサの花が咲いていました。時期がずれると刈られてしまうので、仲々見る事が出来ません。今回は運が良かったのですね。

大丸用水では、色々水草が観察出来、コウガイモの雌花が見られました。小さい花です。ほかにはオオカナダモ、オオフサモ、ヤナギモ、ウキクサ、アオウキクサなども見られました。

稲城北公園で昼食。そばの柵にガガイモの花が咲いていました。余り暑いので、途中退場された方もありました。最後、矢野口駅で解散しました。お疲れ様でした。(FAM)

### ▲観察記録 (番号順)

(01)アメリカオニアザミ(花)、(02)オオアレチノギク(花)、(03)ヒメムカシヨモギ(花)、(04)ニガウリ(実)、(05)クコ(花)、(06)ヘクソカズラ(花)、(07)ヒルガオ(花)、(08)バショウ、(09)オオバベニガシワ、(10)シンテッポウユリ(花)、(11)

ネズミノオ、(12)ヤマグワ、(13)ヤブカラシ、(14)カラスウリ(花)、(15)エビツル、(16)オオブタクサ、(17)マルバルコウ(花)、(18)キツネノマゴ(花)、(19)チャガヤツリ、(20)シマスズメノヒエ、(21)ヤハズソウ、(22)メリケンガヤツリ、(23)スズメウリ、(24)アオミズ、(25)オオニシキソウ(花)、(26)マメグンバイナズナ(実)、(27)ミチヤナギ、(28)ワレモコウ、(29)ヒメクグ、(30)シナダレスズメガヤ、(31)ブタナ(花)、(32)メヒシバ、(33)オヒシバ、(34)ハルシャギク(花)、(35)ウマノスズクサ(花)、(36)ヘラオオバコ(花)、(37)コマツヨイグサ(花)、(38)コスズメガヤ、(39)ヨウシュヤマゴボウ、(40)イヌホオズキ(花)、(41)ザクロソウ、(42)アカメヤナギ、(43)トキンソウ、(44)コゴメガヤツリ、(45)トキワハゼ(花)、(46)イヌヒエ、(47)オオカナダモ、(48)メタセコイア、(49)コヒルガオ(花)、(50)センニンソウ(花)、(51)コウガイモ、(52)アオウキクサ、(53)ジュズダマ(実)、(54)ガガイモ(花)、(55)キカラスウリ、(56)ムクノキ、(57)ミソハギ(花)、(58)オオフサモ、(59)ヤナギモ、(60)ヤノネボンテンカ

#### ▲シンテッポウユリ

いや〜、暑かったですね。

途中で二人の方が途中から帰ることになり心配しましたが、その後は全員ゴールの矢野口駅まで歩き通すことができました。

もうちょっとコースを短縮するなどの対応が必要だったのかもしれませんが、コウガイモ、ヤナギモ、それとウマノスズクサを見ていただきたかったため、結局、フルコースを歩くことになりました。

後半に目玉があるので、前半を省いて、稲城長沼駅からスタートするのも手かもしれませんね。

シンテッポウユリについては、タカサゴユリではないか、という質問がありましたので補足しておきます。

かつてこの植物が入ってきたときには、タカサゴユリとシンテッポウユリの2種があると紹介されました。

そのときいわれていた区別のポイントは、花被片に赤い筋があればタカサゴユリ、純白ならシンテッポウユリ、ということでした。

いまでは、1.タカサゴユリは台湾に自生している純粋種を指す 2.日本に入ってきたものはタカサゴユリとテッポウユリの雑種であり、人為的に「戻り交配」が行なわれ、タカサゴユリにごく近いものからテッポウユリに近いものまで雑多に栽培されたり、それが逸出しているが、いずれも雑種である・・・と解釈されています。

雑種と純粋種とを同じ名前と呼ぶのは不適切、という考えから、雑種はすべてシンテッポウユリと呼ぶことになったのです。

したがって、花被片に赤い筋があろうとなかろうと、われわれが目にするものはすべてシンテッポウユリといえます。

ことによると、純粋のタカサゴユリが栽培され、逃げ出して野生化しているかもしれませんが、その場合の区別点は私にはわかりません(^\_^)

(T a)

## ◆ 〔大丸用水〕

大丸用水は、江戸時代初期（1600年代）に、農業用水として開削、整備された灌漑用水路で、多摩川大丸堰で取水して、現在のJR南武線に平行して稲城市、川崎市多摩区を流れ、総延長は約70キロメートルにも及びます。用水はすべての農地に水を引くために分岐を繰り返し、立体交差するところもあります。

かつては村の間で水争いも結構あったようです。

近年、宅地化に伴い、耕作地面積が減少して、埋め立て、暗渠化が進められています。一部親水公園として整備されたところもあります。

このコースでは、多摩川河川敷の植物、田んぼの植物、用水路の水草などの観察が出来ます。

## ◆ 〔ミズネコノオ〕

水元公園には、めったの見る事が出来ない「ミズネコノオ」があります。これは、記載されている図鑑も少ない植物です。

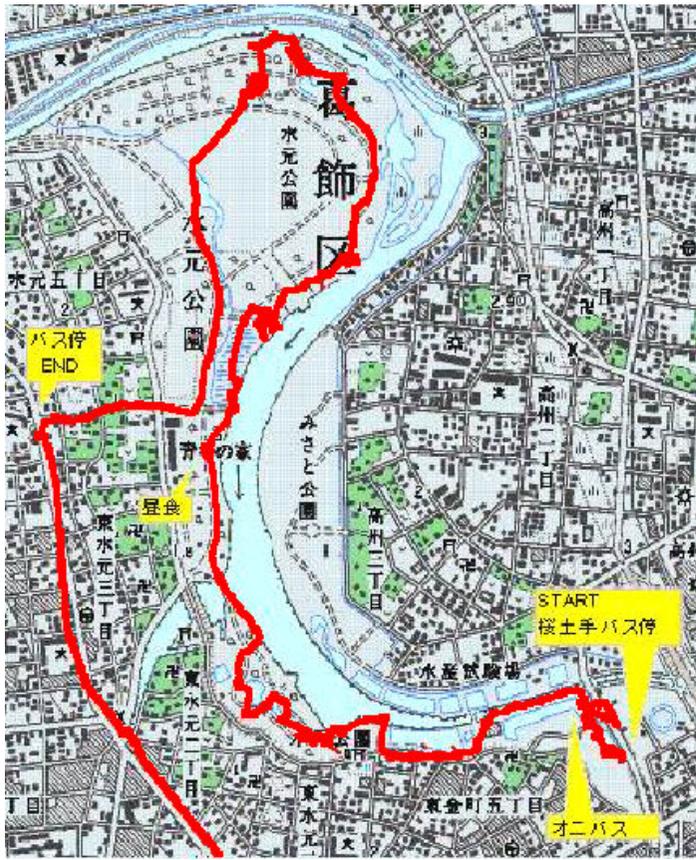
ミズネコノオ シソ科ミズトラノオ属

茎の中央で枝分かれし、線形の葉が3～6枚輪生します。15～50cmの1年草。2～5cmの花穂を出し、白色または淡紅色の花を密に付けます。

ミズトラノオに良く似ていますが、ミズネコノオは1年草で、地下茎がなく、花穂の幅は3～4mm、おしべにほとんど毛がないところが違います。

（ミズトラノオは、多年草、長い地下茎があり、花穂の長さは2～8cm、幅は1cm弱、おしべの中部付近に長い毛を密生します）

〔行事予定〕 2009/9/5 (土) 水元公園

| 項目            | 説明  |
|---------------|---|
| 集合            | am10時、JR常磐線金町駅 南口 ※会旗目標<br>改札口は一箇所だけです  |
| 交通            | JR常磐線、地下鉄営団千代田線をご利用下さい。<br>金町駅前から三郷団地行きのバス10：11に乗りますので、これに遅れないようにお願いします                     |
| 行く先<br>(解散場所) | 水元公園園内観察<br>JR常磐線金町駅 pm4時頃解散予定  |
| 見所<br>その他     | 目玉のオニバスのほかアサザ、ゴキツル、ミズネコノオなどの水中～水湿地植物。秋の草花、公園内の樹木など  |
| 地図            |          |
| コース           | JR金町駅南口→(バス)→桜土手→アサザの池→オニバスの池→公園内散策→青年の家(昼食)→公園内北上→ミズネコノオ自生地→公園内南下→公園入り口→バス停→(バス)→金町駅南口(解散) |

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2009/9/27（日） 黒川～真光寺（別所）

| 項目            | 説明  |
|---------------|---|
| 集合            | am10時、小田急多摩線黒川駅南口階段下 ※会旗目標<br>改札口は一個所だけです   |
| 交通            | 小田急線新百合ヶ丘駅より唐木田行きに乗換えて3駅目<br>京王相模原線永山駅で小田急多摩線に乗換え2駅です<br>急行、多摩急行は停まりません。区間準急、各駅停車をご利用下さい<br>または京王相模原線若葉台駅から徒歩（10分弱）も便利  |
| 行く先<br>（解散場所） | 川崎市黒川～町田市、南野バス停にてpm3時頃解散予定（バスで<br>京王線多摩センター駅へ）  |
| 見所<br>その他     | 黒川の里山を歩いて、林・畑・水田などの環境による植生の違いを<br>観察します。身近な植物をじっくり見直してみましよう<br>数十年前にタイムスリップしたような農道や旧道もいまでは貴重な<br>光景です   |
| 地図            |   |
| コース           | <p>駅前～汁守神社～横山道～水田の植物観察～いずみ浄苑（昼食）～<br/>真光寺～飯守神社～（中世伝甲州道）～別所～南野バス停 解散1<br/>5時頃</p> <p>行程は5～6km、歩きやすい道です<br/>コースは天候その他により変更する場合があります<br/>ご用のある方は途中で抜けても構いません</p> |

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2009/10/17 (土) 稲城ふれあいの森

| 項目            | 説明   |
|---------------|--|
| 集合            | am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標<br>若葉台駅の改札口は一個所だけです   |
| 交通            | 京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目<br>小田急多摩線の場合は、永山駅、または多摩センター駅で、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換え<br>若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください                                   |
| 行く先<br>(解散場所) | 稲城ふれあいの森 (一回りして若葉台駅へ戻ります)<br>若葉台駅にてpm4時頃解散予定   |
| 見所<br>その他     | ツリガネニンジン、リンドウなど  |
| 地図            |   |
| コース           | <p>若葉台駅→ふれあいの森→(南周遊路)→大塚牧場脇→(休耕田)→正吉苑脇→谷戸→日大グランド脇→若葉台駅(解散:4時頃)</p> <p>多少のアップダウンがあります</p> <p>コースは天候その他により変更する場合があります</p> <p>ご用のある方は途中で抜けても構いません</p> |

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円